

特別企画 インターネット・コールサイン・サーバ

# QRZ.COMに 登録してみよう

世界のアマチュア無線家にとって有名なインターネットのWebサイトといえば、今回紹介するQRZ.comがその中の上位の一つに数えられると思います。

本稿では、最新の情報を交えながらQRZ.comへのコールサインの登録や登録内容の変更、そして複数コールサインの登録について説明したいと思います。



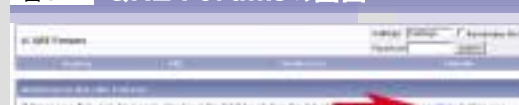
JF10CQ 三宅 広幸  
Hiroyuki Miyake

図01 QRZ.comのトップ画面



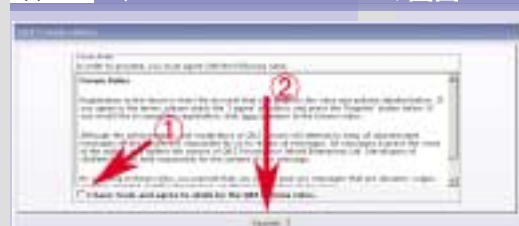
“Login” ボタンをクリックする

図02 QRZ Forumsの画面



矢印のregisterをクリックする

図03 QRZ Forums Rulesの画面



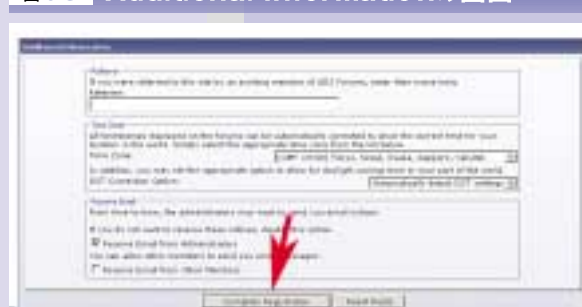
矢印で示す①のボックスにチェックを付け、②のRegister ボタンをクリック

図04 Register at QRZ Forumsの画面



矢印で示す①から⑤の部分を入力する

図05 Additional Informationの画面



Complete Registration をクリックする

## インターネット・コールサイン・サーバ QRZ.COMに登録してみよう

図06 QRZ.comから届いた最終確認メールの例



図07 QRZ Messageの画面



正式にQRZ.comにユーザー登録されたことが確認できる

### 1 新規登録

最初にQRZ.com (以後、QRZと略)のデータベースを利用するための基本的な決まりごとを覚えておきましょう。

QRZはインターネットで利用するコールサイン・データベースです。そして、それを不特定多数のユーザーが利用するサイトですから、その登録されたデータの信頼性や利便性を担保するためには、どうしても個人を特定する認証という作業が必要になるのです。

その認証ができて初めて個々のコールサインの登録やその変更、修正が可能となるわけです。

私たちはとかく登録するコールサインのことばかりを考えてしまいますが、QRZではコールサインの登録前に、ユーザー個人の登録作業がある

ことを知っておきましょう。

それでは具体的な手順を見ていきます。

#### 1-1 ログイン・ユーザー登録

まずはQRZのWebサイトにアクセスしましょう。URLは次のとおりです。

<http://www.qrz.com>

図1に示すトップ画面が出たら画面の右上角にログイン(Login)ボタンがあるので、それをクリックします。

次に画面が変わって、図2に示すような画面が出るので、registerという部分をクリックします。

すると図3に示す画面が表示されます。その画面の①のボックスにチェックを付け、続いて②のregisterボタンをクリックします。

図4の画面が出たら、図4に示す①から⑤までの部分を入力します。

そのほかここでは入力しませんので、そのまましておきます。

①は登録したいコールサイン、②はパスワードの登録です。パスワードは万一忘れても問い合わせが可能ですが、必ず書き留めて保存するか、いったんこの画面を印刷してからこの部分に書き込み、それを保存します。確認のために2回入力します。

③は登録者のE-Mailアドレスを入力します。ここはなるべく転送アドレスではなく、プロバイダから提供されたアドレスを記入することをお勧めします。

④は登録者のアカウントを狙ってロボットによる悪意あるログインを防ぐためのものですから、画像を見てそのとおりに入力します。

⑤はタイム・ゾーンの設定ですから、正しく日本時間(GMT+9時間)を選びましょう。

すべての情報が正しく入力できたら、図5に示すComplete Registrationをクリックします。

ここまではまず間違いなく進んで来られるはずですが、くれぐれもパスワードやE-Mailアドレスに間違いがないかどうかの確認は忘れずに行います。

先ほど登録したE-Mailアドレスに最終確認のメールが到着するので確かめてみましょう。

筆者の手元に送られて来たメールの内容を図6に示します。

QRZへのユーザー登録の最後として、図6に示す①を押すと、図7に示す画面が表示されて正式にQRZにユーザー登録されたことが確認できます。

なお、図6の②は、①がうまく動作しない場合にクリックします。

#### 1-2 プロファイルの入力

次にあなたの補助的な情報を入力していきましょう。

図08 Edit Profileの画面



図09 Edit Profileの画面に筆者の情報を入力した例



図10 QRZ.comのコールサイン入力欄



ここに登録したいコールサインを入力して Callsign ボタンをクリックする

図11 Callsign Information Update Pageの画面



①に登録するコールサイン、②にユーザー登録で設定したネームとパスワードを入力する

図13 Callsign information for XXXXXXの画面



筆者のデータ入力例

図12 Update Menuの画面

①から④の部分でそれぞれ登録作業を行う



図7のProfileという部分をマウスでクリックすると、図8に示すような新しい画面が表示されます。これはオプション情報なので必ず記入しなければならないというものではありませんが、参考までに筆者を例にして記入のサンプルを紹介します。

図9は筆者の情報を入力した画面です。なお、ここでもっとも重要なのは、将来ログイン時のパスワードやE-Mailアドレスの変更をしたい場合は、必ずこの画面から行うということです。ぜひ覚えておきましょう。

さて、筆者は生年月日を登録しましたが、実際には年齢のみをデータベース上で公開するオプションを選びました。

必要なオプションをすべて入力し終えたら、一番下段の Save Changes ボタンをクリックします。

ログイン・ユーザー登録はこれで終了です。

## 2 コールサインの登録

では、いよいよ貴局のコールサインとその情報を入力していきます。

わかりやすくするために、いったんQRZのトップページに戻り、図10に示す画面左上にあるコールサイン入力欄に登録したいコールサインを入力し、Callsign ボタンをクリックしましょう。

結果は登録がないので図11に示す画面が表示されますから、図中の①にこれから登録したいコールサインを入れ、②にはユーザー登録で設定したネームとパスワードを入力します。

①に登録するコールサイン、②にユーザー登録で設定したネーム

とパスワードを入力します。

正しいログイン情報が入力できると、図12に示す画面に変わります。

では、筆者の所属する前橋DXコンテストクラブを例にして登録の実際を説明しましょう。

まずは、図12の①を選び、基本情報を入力します。画面の左端にあるGoボタンをクリックします。

次に Callsign information for XXXXXX(ここは貴局のコールサイン)と表示された画面が出るので、必要な部分を入力しましょう。図13を参考に入力してください。

正しく入力が終わったら、下段の Save Changes を押してデータを確定しましょう。その後Doneを押してメニューに戻ります。

続いて図12の②を選び、Biographyを入力します。特別に必要な場合はここは省略して構いません。参考までに筆者の例を図14に示します。な

## インターネット・コールサイン・サーバ QRZ.COMに登録してみよう

図14 Biography for XXXXXXの画面



図15 お気に入りの画像などをアップロードする画面



図は筆者の例。自身のハム歴やアクティビティなど、自己紹介のページ。絶対に日本語は入力しないこと!

図16 アップロードが成功したときに表示される画面



図17 画像がデータベースに反映された画面例



図19 画像のアップロードが成功した画面



画像のアップロードが成功し、筆者の所属する前橋DXコンテストクラブのページに反映された画面

図18 アップロードに失敗したときに表示される画面例



お、ここは絶対に日本語を入力してはいけません! 十分にご注意ください。

入力が終わったら矢印の部分をチェックして Save Changes ボタンをクリックします。

では次にお気に入りの写真をアップロードすることにしましょう。

図12の③をクリックします。画面が変わって図15に示す画面が表示されるので、①の部分にアップロードしたいファイル名を指定します。ファイル名や保存場所がわからないときは参照ボタンを押し、必要な場所を選んで指定します。

アップロードが成功すると、図16に示す画面が表示されます。このとき、①のClick here to Preview image ボタンを押すと、アップロードされた写真がプレビューされるので、自分で確認が取れるわけです。

ところで、QRZに掲載する写真

については、いくつかの決まりや制限があるので、あらかじめ注意が必要です。

まず、写真のサイズは1MB以上のものを送ってはいけません。ファイル形式もjpg, bmp, gif, PNG, tifに限られます。当然ですが公序良俗に反するもの、著作権に抵触する画像もアップロードできません。これらのアップロードされた写真はすべてQRZのスタッフによってチェックされ、問題がないと判断されたものだけが皆さんのデータベースに反映(掲載)されます(図17)。

したがって、反映までには早いときで数時間程度、遅くとも1日以内にはデータベースに掲載されずから、気長に待つことが肝要です。

もうひとつ、アップロードの際に参照ボタンを押してファイルを

指定するときは、日本語が入ってはいけません。つまりファイルの配置場所が、C:\¥Documents and Settings¥Hiro¥デスクトップ¥IMG\_198264¥IMG\_1990TR.jpgのように、デスクトップという日本語(2バイト文字)を含むとアップロードに失敗して図18に示すような画面が表示されて先に進めません。アップロードしようとしている画像ファイルはc:¥などにいったん移動してからアップロードするようにしましょう。

すべての作業が終わったら図12の④のGoをクリックしてメニューを終了します。

画面は登録したコールサインの表示画面(図19)に移動します。

## 3 データの修正

わたしたち日本のハムは、原則

としてコールサインの変更を体験する機会はほとんどありません。アメリカのように資格でコールサインが変更できる制度もないため、せいぜい住所の変更や電子メールのアドレスを変更した場合に、QRZ上のデータを修正する必要がある程度かと思えます。

しかし、実際には意外にデータベースを修正したいケースがあるものなので、これから説明するデータの修正手順は、ぜひ覚えておきましょう。

図20は、いったん変更したいコールサインを検索して、その画面にあるAdd/Update Biography for XXXXXX (コールサイン)をクリックします。すると図12の画面が再び表示されるので、設定したログイン名(コールサイン)とパスワードでログインして図12に移り、必要なアップデートを実施します。

#### 4 >>> トラブル・シューティング

QRZは1992年の創設以来、幾度となくシステムを変更しています。その多くは、セキュリティ強化に関するもので、筆者を含めた古くからのQRZユーザーは、都度の変更を見るたびにシステムが巨大化していくときの成長の過程を目のあたりにしたものです。

後述しますが、現在のQRZは多くのボランティアによって支えられており、かつて創設者のAA7BQ Fredが一人で支えていたころとはまったくかけ離れた世界で、すべてがシステムティックに運営されているのです。なかでも、もっとも彼らがおペレーションに力を入れ、かつ重要視している分野がQRZでのサポート面です。

実際のところ、ひとくちにコールサインといっってはみても、QRZ

図20 QRZ.comで変更したいコールサインを検索



QRZ.comで変更したいコールサインを検索して、矢印のAdd/Update Biography for XXXXXX(コールサイン)をクリックする

図22 User Account Centerの画面

下段にコールサインやユーザー名、E-Mailアドレスなどキーワードを入力する

図23 JQ1YRRをキーワードに検索した画面例



にはその個人に関わる情報を全世界規模で120万余も自由にアクセスできる環境を整え、これをインターネット上で維持管理していくことは、並大抵のことではありません。

厳しいセキュリティ管理は、反面ユーザーの混乱の元にもなるわけで、やはりユーザーへの手厚いサポートはなくてはならないものだといえるでしょう。

現在、QRZの操作面に関するサポートは、Help Centerが受け持ち、さらにSupport Forumという一種の電子掲示板システムが機能しているおかげで、何かの問題を抱えたユーザーはその情報からヒントを得て問題を解決し、また今度はその経験をフォーラムで逆に披露することで次のユーザーを助けるというシステムが確立しています。

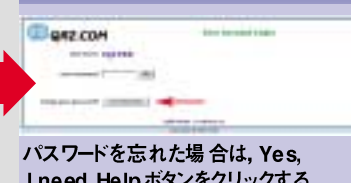
以下ではトラブルとして多いと思われる部分の解決方法をいくつ

図21 Help Center-Registration Deskの画面



QRZのSite Menuから呼び出すことができる

図24 User Account Loginの画面例



パスワードを忘れた場合は、Yes, I need Help ボタンをクリックする

か紹介します。

#### 4-1 ログインに関すること

QRZのSite Menuから Help Center - Registration Desk を選びます(図21)。

次に図22に示すUser Account Centerの画面が表示されるので、一番下段にコールサインやユーザー名、E-Mailアドレスなどキーワードを入力します。

図22の例ではJQ1YRRをキーワードに検索を行い、図23に示すような結果を得ました。もっとも近い内容を選び、Continueボタンをクリックして先に進みます。

すると図24に示すような画面に変わりログインを促しますが、何らかの理由でパスワードを忘れてしまった場合は、Yes, I need Help ボタンをクリックします。

その結果、リカバリーのいくつ

### インターネット・コールサイン・サーバ QRZ.COMに登録してみよう

図25 User Account / Password Recovery Optionsの画面



リカバリーの方法を①～③の中から選択する

図27 コールサインの検索で登録がないときに表示される画面例



図28 Add a new callsign: XXXXXXの画面例

一例としてAdd JS1WVT to the QRZ database ボタンをクリックすると、この画面が表示されるので、下段のAccept ボタンをクリックする

かの方法を選択する図25に示す画面に切り替わります。

図25の①はもっとも普通の方法です。たいていはこの方法で対策ができるので、登録時のE-Mailアドレスが使えないとか、QRZからのメールを受け取れないフィルタ設定があるなどの特別な事情がない限り、このオプションを選択することをお勧めします。

図25の②は有料のサービスです。①のようなE-Mailでのユーザーのベリファイなどなしに、即在にIDやパスワードを受け取れるオプションです。

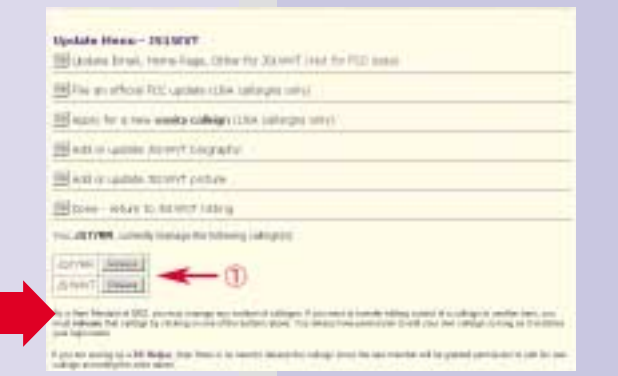
図25の③は無料のサービスで、QRZのスタッフからのサポートを受けられるものですが、詳細を記述できるメリットはあるものの、自動応答ではないために回答を得るまでに時間がかかります。これらのいずれを選ぶかは内容にもよ

図26 DX Helpersの画面例



世界中のQRZ.comユーザーからの投稿を見ることができる

図29 Update Menu - XXXXXXの画面例



JQ1YRRがJQ1YRRとJS1WVTの二つのコールサインを管理していることがわかる

りますが、皆さんの問題解決の大きな助けになることでしょう。

#### 4-2 そのほかのトラブル

いろいろなトラブルや疑問については、QRZ ForumsにあるDX Helpersがたいへん役立ちます。

残念ながら英語の記述ですが、データベースへの登録をQRZのスタッフに直接依頼するのこちらからできるので、図26に示すように、ほかの方の投稿を参考にして記述すれば問題ありません。

#### 5 >>> 複数コールサインの登録

筆者は日本のハム・ライセンスのほかに米国、ニュージーランドなど、いくつかの継続できるライセンスを保持しています。そのほかにDXパッケージで使用した各国のコールサインをまとめてQRZ

で管理しています。

次に一つのユーザー登録で複数のコールサインを管理登録する方法について、筆者の弟のコールサインを筆者が行う想定のおうで説明します。

基本的な操作は、すでに説明した内容と変わりません。コールサインの検索で登録がないので、図27の画面が表示されます。

Add JS1WVT to the QRZ database ボタンをクリックすると、図28に示す画面が表示されるので、Accept ボタンを押します。

図12で入力したのと同様に住所情報などを入力し保存すると、図29に示すような画面が表示されます。

ポイントは、①の指し示した部分です。画面の情報はJS1WVTについての情報ですが、管理がJQ1YRRになっているのがおわか

Column

# QRZ.comの 秘密!

知っているようで  
知らない

筆者 (JF1OCQ)は、QRZ.comの創設者であり、現在も先頭に立ってQRZを支えるAA7BQ Fred Lloid (写真)にQRZについてインタビューしてみました。

**Q-1** QRZのデータベースに登録されているコールサインはいくつありますか?

**A1.** コールサインの総数は1,204,546局(筆者注:インタビューした2008年3月3日現在の数字,以下同)で,そのうちコメントまでを追記している局は94,900局あります。登録されたシャックなどの写真の総数は88,362件あります。新しいコールサインは毎日増え続けています。

**Q-2** だいたい結構ですが、QRZに登録されている日本のコールサインはいくつありますか?

**A2.** 7,010局の登録があります。

りいただけるでしょう。

この後の操作は先に説明した内容と同じに進めていただければ問題ありません。

このようにして、一人のログイン・ユーザー登録を行ってあれば、その属性に付属するようにして複数のコールサインを管理することが可能です。

最近では海外での運用の機会も増

**Q-3** QRZ.comへのアクセス数などは把握していますか?

**A3.** 過去30日(2008年2月2日から3月2日まで)のアクセス状況は次のようになっています。

- アクセス総数 2,448,000ヒット
- ユニーク・アクセス 622,543ヒット
- ページ閲覧 14,978,000ページ
- 訪問者一人あたりの閲覧ページ数 6.12ページ
- 日本からのアクセス数 53,593ヒット

**Q-4** QRZの組織について教えてください。スタッフの数やフォーメーションについても差

えたことで、このような形でコールサインの管理ができることは、たいへん便利なことだろうと思います。

## 6 おわりに

かつては冊子でしか提供されなかったコールサイン情報が、磁気テープからCD-ROMでの提供に変

し支えない範囲で教えてください。

**A4.** 私は1992年にCD-ROM版のQRZを作りました。続いて翌93年にはダイヤルアップでのコールサインサーバ(BBS形式)をスタートさせました。

そして1994年にQRZ.comのドメインを取得して以来、ずっとこの形を維持しています。

QRZはインターネットの黎明期のもっとも古いWebサイト(12,000サイト)の中の一つに入っています。この12,000サイトとは、政治、経済、娯楽などのあらゆる種類の分野を指している、ハムの世界ではもっとも古いサイトの一つです。

QRZをスタートさせたとき、私はSunマイクロシステムズ社のシステムエンジニアでしたので、ずっとSunのハードウェアを使っていました(筆者注:OSとしてはWindowsではなくUNIXマシン)

私は2006年に18年半勤めたSunマイクロシステムズを退職しました。

私はQRZ上のソフトウェアを自分自身で作っています。ただし、データベース(MySQL)やWebサーバ(HTTPD)は別です。最近ではフォーラムのためにvBulletinを追加しました。

QRZは、対価をもらうようなスタッフをまったく持っていませんが、そ

わり、今では高速なインターネットの普及とともに直接QRZのサーバから閲覧できるようになりました。日本人のわれわれにとっては、英語でのサービスは少々敷居が高い印象もありますが、しかしQRZが提供している膨大な量の情報は、その英語での情報提供というハンディキャップを割り引いても、まさに有りあまるメリットが

れでもユーザー・サポートとフォーラムを助けるおよそ15人のボランティアのネットワークがあります。

おもなメンバーとしては、Fred Lloyd, AA7BQ (Publisher), Terry Graves, K7FE (Chief Editor, user support), Dave Larsen, WS2L (Associate Editor, user support), Glen Zook, K9STH (Chief Forums Moderator)などです。

**Q-5** QRZを運営していて、もっとも楽しいことはなんですか?

**A5.** 私のもっとも大きな喜びの一つは、インターネットでもっともアクティブなアマチュア無線Webサイトをホスティングすることができることです。

私はインターネットで私自身が今までに夢に見たよりはるかに多くの人々を、QRZという媒体を通して助ける形でアマチュア無線に貢献しています。

米国の宇宙飛行士たちが、QRZのCD-ROM版データベースをMIR宇宙ステーションに持っていき、次に、国際宇宙ステーション(ISS)にも運ばれました。

私はそのことをとても光栄に思っています。QRZのデータベースは南極を含む、北からすべての大陸、

国々で使われています。

**Q-6** QRZを運営していて難しいところはどこでしょうか?

**A6.** やはりフォーラムにおける意見の違いなどですね。議論することだけが好きな人もいますから、私たちはQRZを訪れてくれるすべての人たちが快く過ごしてもらえるように努めるところでしょうか。

**Q-7** もしよろしければQRZの将来や、また新しい機能について教えてください。

**A7.** QRZは新しい機能としてCQ ZoneやITU Zoneをデータベースに付加したり、新しいページエディタ機能として、ユーザーがHTMLやCSSを使って自在に扱えるページや、制限なしの写真データなどのアップロードなどを提供するつもりです。

もちろんQRZ Ham Radio CD-ROMの最新版にも取り組んでいますからね。

**Q-8** 最後に日本のユーザーに一言メッセージをお願いします。

**A8.** QRZは日本のハムにとって

あるものです。

しかし、増え続けるコールサイン情報に対応するため、QRZも日々進化しているのも事実で、データベースの仕様や操作法の複雑化はその進化とは無縁ではありません。よってこの先、予告なく操作方法が変わる可能性があることも、皆さんには十分にご理解いただき、楽しいハムライフにQRZを

活用してください。

最後に、本稿では限られた紙面の中でエッセンスのみを紹介しました。残念ながら紹介しきれなかった内容や、また手順についての質問は、直接筆者までE-Mailでお問い合わせください。筆者の知りうる範囲でご回答するとともに、必要に応じてAA7BQ Fredやスタッフの力を借りて、皆さんの質問

役立つサイトであると思ってくださいることを大変喜んでます。

そして私たちは将来、新しい機能をQRZで扱えるようになることを心から希望しています。

また、もし私たちは英語を日本語に翻訳してくれるボランティアを見つけることができるなら、QRZの中にもっと多くの日本語を取り込んでいけるのと思っています。

私は2006年にSunマイクロシステムズを退職して以来、フルタイムをQRZに使っています。何よりも世界中のハムのために働けることを心から楽しんでいます。

日本の皆さんも楽しいハムライフをお過ごしください。 (CQ)



QRZ.comの創始者であるAA7BQ Fred Lloid氏。これからも進化するQRZ.comの将来に期待して欲しいという

にお応えできればと思っています。ただし、筆者も宮仕えの身ですので、回答には少し猶予をいただきたいと思います。

QRZに関する日本語での情報は、筆者のホームページで提供していく計画ですので、興味のある方は利用してください。

URL : <http://www.w1vx.net>  
E-Mail : [jf1ocq@arrl.net](mailto:jf1ocq@arrl.net)